

桜の聖母学院中学校・高等学校
校 長 遠 藤 静 子

初夏の風の中で、中庭のヤマボウシの白い花が美しく咲く季節となりました。皆様にはますますご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、私は、このたび6月30日をもちまして校長の職を辞することになりました。平成17年4月1日から6年3か月の間、併設型中高一貫教育の立ち上げや「教育新生プラン」を通しての桜の聖母学院中学・高等学校の教育の充実のために、保護者・卒業生・生徒・教職員の皆様からいただきました数々の協働の実りを心から感謝いたしております。

また、この度の3.11東日本大震災とその後の生徒の教育環境を守るためにも、多大のご協力を頂戴し、真にありがたく心より御礼申し上げます。学期半ばでの人事異動となり、たいへんご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げます。

後任の校長には、シスター伊達幸子が就任いたします。新校長は、平成17年から桜の聖母学院中学・高等学校の「教育新生プラン」に、私と共にスタートから一緒に取り組んできました。生徒の教育環境の充実には完成点がありませんが、校長交代があっても、「桜の聖母教育」は、生徒の主体性を発揮させて、生徒一人ひとりの「なりたい自分のイメージ」実現に向けて応援する教育を更に推進いたします。新校長と全教職員が相乗効果を発揮して、教育の充実に努めて参りますので、今まで同様ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本校の教育にご賛同くださり、かけがいのない大切な存在であるお子様の教育を、本学院に委ねてくださいますことに心から感謝いたしますと共に、お子様のお一人お一人の上に神様の祝福が豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。